

## 古河産業

# インフラ点検事業を強化

## 水中・船型ドローン活用

古河電工グループの中核商社である古河産業（本社・東京都港区、社長・安永哲郎氏）は



点検に使用する  
船型ドローン

ドローンを用いたインフラ点検事業を強化している。事業は2016年度に一般的なドローンを使用し風力発電の点検向けでスタートしたもの。同社ではさまざまな顧客の課題を解決するため水中ドローンを用いた船舶の点

検や、船型ドローンによる河川の測量などにも幅を広げている。

ドローンを用いた点検事業は一般的な点検では見えづらい場所が

チェックできるほか、作業リスクを低減できることなどが特長。昨年からは水中ドローンによる船底や発電所用取水管などの点検を、電力会社や海運会社などに提案し始めた。また船型ドローンを用いた川底の土砂堆積状況などを確認するビジネスを、土木系のコンサルタント会社向けにスタートさせている。

今後もビジネスの幅を広げる考えで、今年度からは小型のバギー型ドローンを使った工場配管の点検事業を始める方針。

